

調べ学習（博物館編）

別府大学

教授 段上 達雄

（１）博物館によって調べ学習のテーマを決めましょう

博物館には歴史博物館・民俗博物館・科学博物館・自然史博物館・産業博物館・美術館、それに動物園や植物園まで、さまざまな博物館があります。また、博物館はそれぞれ常設展示の主題を持っています。大分県立歴史博物館は古墳群を擁する宇佐風土記の丘という史跡公園内にあり、宇佐・国東の歴史と文化を中心に常設展示を行っています。また、別府大学附属博物館は大学の先生と学生とが発掘調査してきた大分県内の考古遺物を展示しています。博物館で春や秋などに催される企画展（特別展）なども、主題が明確に決まっています。たとえば、「日本の恐竜展」から「妖怪幽霊展」まで、さまざまな分野の展示が行われます。このように博物館の展示では、かならず主題が決まっていますので、調べ学習のテーマを事前にきちんと決めておきましょう。博物館に連れて行って「何でも良いから調べてきましょう」では、あまり成果は上がりません。博物館で調べ学習を指導する先生は、子供たちが興味を持って楽しめるような適切なテーマを設定してください。なお、大分市歴史資料館では総合学習・調べ学習のための図書や歴史ビデオ・パソコンメニューを用意しています。

（２）学芸員に協力してもらいましょう

博物館には専門職員の学芸員がいます。調べ学習の企画について相談したり、児童生徒たちの調べ学習の指導をしてもらいましょう。博物館での学習では展示見学が中心となりますが、子供用の解説パネルを設置している博物館はそれほど多くはありません。難しい展示の内容をわかりやすく解説してくれたり、児童生徒の質問に答えてくれます。質問と回答という学芸員との会話の中から、子供たちはいろんなことを学ぶことができます。

（３）体験学習に参加しましょう。

最近の博物館では、展示見学だけではなく体験学習ができるところが増えています。大分県内でも、国東市体験学習館や大分市歴史資料館などは体験学習に重点を置いています。勾玉作り・火起こしなどから始まって、さまざまな体験学習ができるようになってきました。展示見学とともに体験学習をすることは、楽しい思い出として強く子供たちの記憶に残ることになります。実際に体験したことで疑問に思ったことは学芸員に質問して、分かったことや思ったことを書いていくことが大切です。

次に国東市体験学習館と大分市歴史資料館の体験学習のメニューを紹介しましょう。

国東市体験学習館 勾玉作り・土器作り・土笛作り・土器焼き体験（火入れまで）

縄文機織り・縄文機作り

石器作り（打製）・石器作り（磨製）・

火起こし（舞ぎり・弓ぎり）・火起こし道具作り

古代食づくり（雑炊・汁）・木の実クッキー作り

発掘体験

大分市歴史資料館 勾玉作り・古代火起こし・埴輪作り・明るさ体験・昔の道具体験

昔の農機具体験・和風作り体験・しごと体験(博物館の仕事)等

段上 達雄 氏（だんじょう・たつお） プロフィール

1952 大阪府生まれ

武蔵野美術大学大学院修士課程修了

同大助手、在学中 民俗学者 宮本常一教授に師事

大分県立歴史民俗資料館研究員

文化庁文化財調査官を経て、別府大学文学部文化財学科教授、別府大学附属博物館長